

学校評価全体を通して

全体を通して（学校評議員の方より）

<学習について>

○日本の教育レベルが下がっている。大きな要因として教師一人あたりに見る児童数が世界に比べて多いことにある。教育の質を上げるためには教師の配置が必要。また、教育の効率化を図るためにも、ITCの活用が重要である。

○ICT活用の重視がされているが、ITC活用することにより児童の操作性ばかり力がつき思考力を伴わないことがある。これにより、短絡的な思考に陥ってしまうことに危惧する。

○書物に触れることは、子供たちの成長の中でとても重要である。1日1回はそういう時間を持てると良い。

<生活について>

○顔と顔をつけ合らし、交流を図るわんぱく活動は子供たちの思考力、自立性を高めるのにとっても大切である。

<健康安全について>

○公園で鬼ごっこ、かけっこを楽しんでいる様子が見られる。これを吸収していけば、体力向上につながるのではないか。

<教育相談について>

○児童の教育相談について「困った時に、先生やカウンセラーに相談している」と回答した児童が約50%いる。その相談内容については、組織的に共有を図ることが大切である。

<地域連携について>

○地域の力を活用すると良いかと思う。

<教職員について>

○行事から各学年の独自性が見て取れた。教師の児童に対する指導の工夫が感じられた。

○児童・保護者と教員との評価の差が大きい。

今後の取り組みについて

■学力向上に関しては、学力向上校内委員会が中心となり、子供たちの学力向上に向け、指導内容の充実、指導方法の工夫を進めていくとともに、校内全体で組織的に個別最適な学びの実現に力を注いでいきます。また、ICTの活用については、一人一台端末を新しい学習の手段として積極的に活用しつつ、子供たちの思考力・表現力を向上させるための手立てをさらに研究していきます。

■体力向上に向けて、校内の体力向上推進委員会（体育部会）を中心に、年間を通して体力づくりに取り組める方策について計画し、実践するとともに子供たちが主体的に健康な体づくりに取り組めるよう工夫してまいります。

■いじめの早期発見・未然防止・再発防止に関しては、生徒指導部会の機能を強化するとともに、全教職員で共通理解、共通行動で取り組むよう努めます。また、保護者の方との情報共有、経過報告等についても連携を深めていくよう努めます。

■職員研修の内容を充実させ、教職員の質的向上、授業力向上に努め、保護者の皆様や子供たちからの信頼を損ねることのないよう努めます。

■施設に関しては、日常的な点検を通して安全管理の徹底をしてまいります。老朽化などで不備が生じている物に関しては、速やかに教育委員会に連絡し修繕などの対策を講じ、子供たちの教育環境を整備してまいります。

■来年度から導入されるコミュニテースクールについて地域と連携した教育活動を進められるよう構築を図り、積極的に地域教育力の活用や家庭教育力の向上を図れるよう取り組んでいきます。

今年度の学校評価を終えて

保護者の皆様をはじめ、学校評議員の皆様には、様々なご協力やご意見をいただきました。皆様のあたたかい見守りや励ましは、子供たちの学びの充実の原動力となりました。感謝申し上げます。変化の激しい社会の中で生きる力を子供たちに育てていくためには、学校だけでなく、ご家庭や地域の皆様のお力がますます必要となってまいります。ご家庭・地域の皆様との連携の上、子供たちの教育にあたっていきたく思いますので、これからも学校教育活動へのご理解ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。多くの貴重なご意見を次年度からの学校運営に活かしてまいります。ありがとうございました。